

経済同友会「企業評価基準」

- 2003年発表の「第15回企業白書」において新たな企業評価基準を提唱。
- ①経営者による自己評価のためのチェックリスト、②目標をコミットメントとして示すためのツール、③ベストプラクティスを発掘・評価するためのツール、④「リスク・マネジメント」と「ビジネス・ケース」に資する観点からつくられた設問項目、⑤「形式」の有無よりも「機能」の有無を問う設問項目、⑥常に進化していくツール、の6つの特徴があげられる。
- 評価基準は、市場・環境・人間・社会・コーポレート・ガバナンスの5分野、110項目から構成されている。
- 「従業員」が関与する評価軸は、「優れた人材の登用と活用」「従業員の能力の向上」「ファミリーフレンドリーな職場環境の実現」「働きやすい職場環境の実現」。